

【リビングは家族の集う場所】



リビングは、家族が集まり、それぞれにくつろぐ場所。

そのため、家族で共用して使うモノ、個人で使うモノ、そして、家事に使うモノと多くの数のモノが点在しやすい場所でもあります。

共有して使うモノは、定位置などのルールを決めみんながモノの収納場所をわかる様にしておきます。個人のモノは、個々に使える範囲や場所を決めて、それぞれで管理します。

モノを定位置に戻せない時は、戻すためにかかる動線の長さや動作数の多さなどを見直します。

家族共有のモノの整理と収納



リビングには、とても多くの数のモノがあります。

その種類も文房具や薬を始め、テレビのリモコンなどに至るまで多種多様です。

なので、モノが無秩序に出ていると、ごちゃごちゃ感がでてすっきりしません。

モノを出し放しにしないためには、まず家族みんなで使うモノを、決まった場所に置く仕組みを作ります。

モノに定位置を決め、「ラベリングをする」「引き出しやケースの中がよく見える様にする」など、使う時も戻す時も迷わない状態を目指します。

定位置が決まっても戻せない場合、または家族が戻さない場合には戻す時の手間を見直してみます。面倒なことを減らすとモノは戻りやすくなります。

個人のモノの整理と収納



使う人が決まっているモノは、使う人に管理を任せます。

自分しか使わないモノは自室などに移動してもらうのが理想ですが、リビングでよく使うモノは、むしろリビングに定位置がある方が、移動の面倒さからの放置がなく、リビング全体の散らかりが少なくなります。

リビングでの個人のモノは使う人別に収納場所が決まっていると管理が簡単です。

棚の一部や引き出しを専用にする、ボックスなどの入れ物は個人ごとに分けるなど、人別収納を徹底します。

管理に関しては、あまり細かいことは言わないで、そこに入っていれば（置いてあれば）良しと考えます。その場所がモノで溢れてきた時に整理を促す程度にします。